



本資料は 2014 年 6 月 6 日に BASF スリランカで発表されたプレスリリースの抄訳です。

## News Release

2014 年 6 月 16 日

### BASF の生分解性樹脂を利用したスリランカ 「REPLACE プロジェクト」

- 有機性廃棄物の堆肥化を促進するため、意識向上を目的としたブースを設置

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は、2014年初頭からスリランカ・コロンボにおいて、REPLACEプロジェクト(生分解性樹脂の利用促進による環境再生プロジェクト)に取り組んでいます。本プロジェクトの一環として、BASFのecovio®(エコバイオ)およびecoflex®(エコフレックス)で作られ、堆肥化可能の認定を受けたゴミ袋への切り替えを一般市民に認知させるため、スリランカ・コロンボのGood Market(オーガニックマーケットのような公共広場)において、6月5日の世界環境デーに意識向上・理解促進を目的としたブースを設置しました。

また、廃棄物を分別することの重要性について、一般市民を啓発することを目指し、大学生やボランティアが活動に加わり、教育プログラムを支援しています。今後、参加者からの意見を汲み取る調査を実施する予定です。Good Marketに加えて、このようなブースの設置は、一部の大手小売店での開設も計画されています。

本プロジェクトは、政府高官、政策立案者、廃棄物処理業者、コロンボ市議会、都市議会、教育機関、ゴミ袋加工業者、一流ホテルチェーン、コンビニ、ショッピングモールなどの代表者で構成されています。スリランカの有機性廃棄物を効率的かつ効果的に処理することを目的に、BASFの ecovio®およびecoflex®で作られた堆肥化可能なゴミ袋の使用を奨励しています。

ecovio®および ecoflex®で作られたゴミ袋は、有機廃棄物から液体が漏れることを防ぎ、不快な臭いを閉じ込めるため、有機廃棄物を衛生的に回収することを可能にします。さらにこのゴミ袋は堆肥化可能の認定を受けていることから、堆肥化施設に持ち込まれると直ちに処理することができ、高品質な堆肥として素早く生まれ変わります。そして、栄養豊富な堆肥が、土壌の改善、耕作地不足の解消、温室効果ガスの排出削減を促進します。BASF はすでにこのようなプロジェクトを世界各地で実施しており、効果的な有機廃棄物処理の選択肢として、堆肥化処理の有効性を実証しています。

REPLACE プロジェクトはドイツ投資開発会社 (DEG) が共同出資し、ドイツ経済協力開発省の公的資金が活用されております。本プロジェクトは、国家クーリナー・プロダクション・センター (National Cleaner Production Center) による協力のもと、BASF と ASSIST (Asia Society for Social Improvement and Sustainable Transformation) により実施しています。

ecovio®は、一部バイオベースの ecoflex®および PLA (ポリ乳酸) から作られています。有機性廃棄物と同様に ecovio®製のゴミ袋は、微生物とその酵素のはたらきにより完全に分解されます。堆肥化処理が完了した時点では、ゴミ袋は二酸化炭素、水、およびバイオマスへと完全に変換されています。このゴミ袋は、焼却や埋立て処理されている有機性廃棄物の量を削減し、環境保護に寄与しながら、廃棄物の処理コストを抑えることに役立っています。